

令和6年度厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）

「がん登録を活用したがん検診の精度管理方法の検討のための研究（23EA1006）（研究代表者：松坂方士）」
第2回班会議（R7.1.17）

宮城県における進捗状況

分担研究者

宮城県立がんセンター研究所

がん疫学・予防研究部 部長

（兼）宮城県がん登録室長

金村 政輝

kanemura@med.tohoku.ac.jp



令和6年度の予定と進捗状況

- 7市町で開始（委託契約・無料のモデル事業）
 - さらに、1市が追加で参加
- がん検診の精度管理は、2市1町の肺・胃・大腸がんで実施
 - 令和6年3月に提供を受けたがん登録情報との照合
 - 受診者名簿（2015～2020年）とがん登録情報（2015～2020年）
 - 肺：受診者計122,628人
 - 胃：受診者計 76,465人
 - 大腸：受診者計132,466人

令和6年度の予定と進捗状況

- がん検診精度管理委員会の開催
 - 委員委嘱、日程調整予定
- 偽陰性症例検討会の開催
 - がん登録情報の提供申請の変更申請を行い、承認済み
 - 肺がんを対象に実施予定
- 情報交換会
 - モデル事業参加の8自治体
- 結果の公表
 - 精度管理の集計結果：本研究班へ報告予定
 - がん情報の集計結果（リーフレット）
宮城県立がんセンターHPで同意が得られた自治体について公表する方向

宮城県第4期がん対策推進計画（抜粋）

市区町村における がん登録情報の活用	がん登録情報を活用した がん検診の精度管理
<ul style="list-style-type: none">• P89：また、県立がんセンターでは、市町村におけるがん対策を充実させるため、市町村から委託を受けて、希望する市町村のがん登録情報の利活用を推進しています。令和5（2023）年度は6市町ががん登録情報を利用してがんの実態把握を行い、がん検診の受診勧奨に役立てています。• P90：県は、科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実に役立てるため、宮城県がん登録事業を通して、個人情報保護に留意しながら、医療圏別、保健所別、市町村別などの地域別のがんの罹患の情報の提供を行うとともに、市町村によるがん登録情報の利用を推進します。	<ul style="list-style-type: none">• P42：また、がん登録情報を利用したがん検診の精度管理が可能になったことを踏まえ、市町村に有用性を伝えながら、希望する市町村の支援等に取り組んで参ります。• P89：また、そのうちの3市町では、がん登録情報を活用したがん検診の精度管理に取り組んでおり、実施自治体の増加が求められています。 <div>全県的な実施に向けて、県、市町村、宮城県立がんセンターによる共同実施などについて、宮城県庁に提案中</div>